

「生涯学習推進計画」における計画期間は平成25年度から29年度までの5年間であるが、達成状況を明示するために、「目標」が「毎年度」である項目について抽出

体系別/項目名	現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局																																																								
	年度	数値	年度	数値																																																											
長寿社会を豊かに生きる生涯学習																																																															
(1)	全国学力・学習状況調査で「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校）				24	左表参照	毎年度	すべての項目で全国平均を上回る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>54.0%</td> <td>59.5%</td> <td>70.8%</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>59.7%</td> <td>61.3%</td> <td>47.3%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>79.3%</td> <td>79.1%</td> <td>67.1%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table>				項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%	59.5%	70.8%	66.4%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>56.6%</td> <td>63.2%</td> <td>71.8%</td> <td>68.6%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>57.4%</td> <td>59.4%</td> <td>48.5%</td> <td>52.2%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>79.6%</td> <td>79.7%</td> <td>67.3%</td> <td>66.4%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	56.6%	63.2%	71.8%	68.6%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	57.4%	59.4%	48.5%	52.2%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.6%	79.7%	67.3%	66.4%	小 0/3項目 中 2/3項目 各設問に肯定的に回答する児童生徒の割合は増加しているが、全国平均も本県同様かそれ以上に上昇しており、各市町村、小・中学校にさらなる呼びかけを行っていく必要がある。	教育委員会
	項目	小学校		中学校																																																											
		本県	全国	本県					全国																																																						
	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%	59.5%	70.8%					66.4%																																																						
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%																																																											
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%																																																											
項目	小学校		中学校																																																												
	本県	全国	本県	全国																																																											
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	56.6%	63.2%	71.8%	68.6%																																																											
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	57.4%	59.4%	48.5%	52.2%																																																											
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.6%	79.7%	67.3%	66.4%																																																											
(2)	総合型地域スポーツクラブの会員数	23	54,615人	毎年度	前年度を上回る	318,893人 (272,220人)	現在48市町村に設置されており、県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるよう全市町村での設置に向けて働きかける。	教育委員会																																																							
(3)	指定・登録文化財の件数	23	1,354件	毎年度	前年度を上回る	1,430件 (1,394件)	物件の文化的価値を顕在化してリストアップし、効率よく指定・登録の審査ができるような調査手法を文化財保護審議会等で検討・確立させていく必要がある。	教育委員会																																																							
家庭と地域の教育力を高める生涯学習																																																															
(1)	「親の学び」学習プログラム活用講座（家庭教育研修会）参加人数		新規	—	毎年度	2,000人以上	1,953人	家庭教育研修会は40人以下で行うことがのぞましく、そのためには50回以上研修会を開く必要があるが、講師はまだ少なく、地域にも偏りがあるため、講師の増を図る必要がある。	教育委員会																																																						
	相談活動により状況の好転した児童生徒数の割合		23	62.5%	毎年度	65%以上	79.4%	相談者の多くが重篤なケースであるが、対応する相談員への研修や相談員間での情報交換を行い、様々なケースに対応できるようにしていく必要がある。	教育委員会																																																						
(2)	学校支援地域本部におけるボランティア数		23	1,029人	毎年度	前年度を上回る	2,603人 (1,915人)	継続的にボランティアの資質向上に努めるとともに、その活動の場についても広く提供していく必要がある。	教育委員会																																																						
(3)	地域における青年指導者の養成数		23	11人	毎年度	20人	18人	青年講座の応募者は、知人からの紹介による者が多く、より多くの参加者を得るために効果的な広報の手法を検討する必要がある。	教育委員会																																																						
持続可能な社会づくりを進める生涯学習																																																															
(4)	人権啓発イベントへの参加により、人権を尊重するきっかけになったと思う人の割合		23	89.9%	毎年度	90%以上	94.34%	割合が9割を超えても、引き続き多くの県民が参加し、人権尊重への意識を啓発できるようイベントの周知を図る必要がある。	県民生活部																																																						

生涯学習推進計画における個別目標の進行状況について（抜粋）

資料 2

「生涯学習推進計画」における計画期間は平成25年度から29年度までの5年間であるが、達成状況を明示するために、「目標」が「毎年度」である項目について抽出

体系別／項目名	現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局
	年度	数値	年度	数値			
(6) 要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成数	23	要約筆記者 22人、通訳・介助員 15人	毎年度	各20人	要約筆記者9人、通訳・介助員12人	盲ろう者向け通訳・介助員は、認知度が低く、ここ数年は受講者数が伸び悩んでいるため、引き続き普及啓発の促進を図る必要がある。	健康福祉部
職業的自立を高める生涯学習							
(2) 愛知県職業訓練会館の利用率	23	53.9%	毎年度	60%以上を維持	62.9%	事業所・団体などが職業訓練を行う際には、当会館を利用するよう積極的に呼びかけていく必要がある。	産業労働部
生涯学習推進体制づくり							
(1) 生涯学習推進本部会議の開催回数	23	1回開催	毎年度	1回以上開催	1回	単に開催したという実績だけでなく、会議を通して生涯学習にかかる全庁的な意思統一、認識の共有を図ることが重要である。	教育委員会
(2) 生涯学習情報システム「学びネットあいち」アクセス件数	23	5,799,436件	毎年度	前年度を10%上回る	7,973,132人 (7,502,604人)	11月にシステムを改修し、県民にとって利便性の高いシステムとする予定であるが、常に魅力的な学習コンテンツを提供し、継続的に県民の関心を保ち続ける必要がある。	教育委員会
地域指導者の養成数	24	155人	毎年度	250人以上	250人	人材の養成は県の重要な役割の一つであり、社会の状況に応じて、必要な人材を養成するための研修を継続的に実施していく必要がある。	教育委員会
市町村立図書館の行う研修会への県図書館職員の派遣者数	23	35人	毎年度	50人以上	42人	講師派遣依頼に対応するために職員のいっそうのスキルアップを図ること、市町村立図書館のニーズを的確にとらえることが課題である。	県民生活部
(4) 愛知芸術文化センター来館者・施設利用者率（来館者・施設利用者/県人口）	23	32.9%	毎年度	30%以上	37.98%	美術館について、県民ニーズに合わせた魅力ある展覧会の実施に努めるとともに、芸術劇場について、専任の技術職員により専門的立場から劇場利用者の満足度を高めていく必要がある。	県民生活部
愛知県陶磁美術館来館者数	23	103,386人	毎年度	100,000人を維持	109,003人	ボランティアの活用方法やイベント内容の見直しを通じサービスの向上を図るとともに、教育普及プログラムの充実に努め、魅力ある美術館づくりに努める。	県民生活部
清洲貝殻山貝塚資料館利用人数	23	2,159人	毎年度	2,400人以上	10,582人	朝日遺跡の魅力を発信する資料館として、継続的に魅力ある事業を展開し、普及活動に努めていく必要がある。	教育委員会

「生涯学習推進計画」の77～79ページにかけて記載しているすべての項目について、その状況を記載

体系別／項目名		現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局																																																			
		年度	数値	年度	数値																																																						
長寿社会を豊かに生きる生涯学習																																																											
(1)	全国学力・学習状況調査で「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校）		24	左表参照	毎年度	すべての項目で全国平均を上回る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>54.0%</td> <td>59.5%</td> <td>70.8%</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>59.7%</td> <td>61.3%</td> <td>47.3%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>79.3%</td> <td>79.1%</td> <td>67.1%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%	59.5%	70.8%	66.4%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>56.6%</td> <td>63.2%</td> <td>71.8%</td> <td>68.6%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>57.4%</td> <td>59.4%</td> <td>48.5%</td> <td>52.2%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>79.6%</td> <td>79.7%</td> <td>67.3%</td> <td>66.4%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	56.6%	63.2%	71.8%	68.6%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	57.4%	59.4%	48.5%	52.2%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.6%	79.7%	67.3%	66.4%	小 0/3項目 中 2/3項目	各設問に肯定的に回答する児童生徒の割合は増加しているが、全国平均も本県同様かそれ以上に上昇しており、各市町村、小・中学校にさらなる呼びかけを行っていく必要がある。	教育委員会
	項目	小学校					中学校																																																				
		本県					全国	本県	全国																																																		
	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%					59.5%	70.8%	66.4%																																																		
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%																																																							
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%																																																							
項目	小学校		中学校																																																								
	本県	全国	本県	全国																																																							
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強していますか。	56.6%	63.2%	71.8%	68.6%																																																							
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	57.4%	59.4%	48.5%	52.2%																																																							
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.6%	79.7%	67.3%	66.4%																																																							
健康寿命の延伸		22	男71.74年 女74.93年	(34)	男75年以上 女80年以上	-	地域・職域連携や健康づくりの環境整備等の取組を強化し、重症化予防、生活習慣の見直しなど、行政、企業・団体等との協力による効果的な健康づくり運動を推進する。	健康福祉部																																																			
(2) 特定健康診査の受診率		22	45.9%	29	70.0%以上	47.6% (24年度)	毎年漸増しているが、現在の増加率では目標達成は厳しい状況であり、引き続き、普及啓発に努めるとともに、未受診者対策について効果的な方法を集約し、保険者へ情報提供する必要がある。	健康福祉部																																																			
総合型地域スポーツクラブの会員数		23	54,615人	毎年度	前年度を上回る	318,893人 (272,220人)	現在48市町村に設置されており、県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるよう全市町村での設置に向けて働きかける。	教育委員会																																																			
文化芸術に親しむ人の割合		22	43.0%	27	50%	45.4%	県有文化施設の利用者、県が実施する文化イベント等の来場者を指標としているが、県民にとって魅力的な催しを企画するとともに、効果的な広報を実施する必要がある。	県民生活部																																																			
(3) 指定・登録文化財の件数		23	1,354件	毎年度	前年度を上回る	1,430件 (1,394件)	物件の文化的価値を顕在化してリストアップし、効率よく指定・登録の審査ができるような調査手法を文化財保護審議会等で検討・確立させていく必要がある。	教育委員会																																																			
市町村における子ども読書活動推進計画策定率		23	61%	29	80%以上	70.4%	策定検討中を含めて計画策定の予定がない市町村が16市町村あることから、策定の意義の普及と支援について、より工夫をする必要がある。	教育委員会																																																			
(4) あいちシルバーカレッジの年間受講者数		23	500人	26	540人	540人	目標は達成できているが、定員に対して3倍以上の応募があることから、さらなる定員の見直しを行っていく必要がある。	健康福祉部																																																			
家庭と地域の教育力を高める生涯学習																																																											
「親の学び」学習プログラム活用講座（家庭教育研修会）参加人数		新規	-	毎年度	2,000人以上	1,953人	家庭教育研修会は40人以下で行うことがのぞましく、そのためには50回以上研修会を開く必要があるが、講師はまだ少なく、地域にも偏りがあるため、講師の増を図る必要がある。	教育委員会																																																			

生涯学習推進計画における個別目標の進行状況について（全項目記載）

資料2

「生涯学習推進計画」の77～79ページにかけて記載しているすべての項目について、その状況を記載

体系別／項目名	現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局
	年度	数値	年度	数値			
(1) 子育てネットワークの活用市町村数	23	22市町村	29	40市町村以上	24市町村	市町村に対して、子育てネットワークの活用を働きかけるとともに、ネットワーク自身にも、自ら市町村に働きかけるよう促していく必要がある。	教育委員会
相談活動により状況の好転した児童生徒数の割合	23	62.5%	毎年度	65%以上	79.4%	相談者の多くが重篤なケースであるが、対応する相談員への研修や相談員間での情報交換を行い、様々なケースに対応できるようにしていく必要がある。	教育委員会
(2) 学校支援地域本部におけるボランティア数	23	1,029人	毎年度	前年度を上回る	2,603人 (1,915人)	継続的にボランティアの資質向上に努めるとともに、その活動の場についても広く提供していく必要がある。	教育委員会
(3) 子ども・若者支援地域協議会を利用できる子ども・若者の割合	24	16.2%	26	70%	45.6%	協議会の設置は市町村において進められているが、設置を促すため、市町村を訪問し、設置に向けた説明・依頼を行う。	県民生活部
地域における青年指導者の養成数	23	11人	毎年度	20人	18人	青年講座の応募者は、知人からの紹介による者が多く、より多くの参加者を得るために効果的な広報の手法を検討する必要がある。	教育委員会
(4) 食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	23	72,000人	27	100,000人以上	88,000人	残り2年間で達成可能と見込まれるが、様々な人材の登録などにより、ボランティアの活動を広げるとともに、その活動を県民に周知していく必要がある。	農林水産部
持続可能な社会づくりを進める生涯学習							
(1) ユネスコスクールの認定数	25年 2月	27校	26	150校以上	63校	7月末現在で加盟申請中を含めると148校あり、達成は可能であるが、その後は数値的な目標を質的な目標に代えて、加盟校の支援に重点を置く必要がある。	教育委員会
(2) 県民との協働・連携により、農地などでの生物多様性の保全活動を行う組織数	21	98組織	27	131組織	121組織	生物多様性の保全を始めとした多面的機能の重要性に対する県民の理解を深め、その恩恵を実感できるよう引き続き多面的機能の維持・向上につながる取組を推進する必要がある。	農林水産部
地域における生態系ネットワーク協議会の設立数	24	3協議会	29	9協議会	6協議会	今後3年間で1協議会ずつ設立できるように努めるとともに、協議会の設立だけでなく、その構成団体も増加させていく必要がある。	環境部
(3) 防災学習システムのアクセス件数	23	92,944件	29	230,000件	71,214件	目標は25年度から29年度までの累計であるが、イベントなどにおいて県民への周知を図るとともに、被害予測調査の結果など県民のニーズに合った学習コンテンツを提供していく必要がある。	防災局
防犯ボランティアリーダーの養成数	24	959人	27	2,000人以上	1,992人	防犯ボランティアリーダーは自主防犯団体の中心的な存在として活動するものであり、目標の達成まで残り8人であるが、目標達成後も引き続き養成に努める。	県民生活部
(4) 人権啓発イベントへの参加により、人権を尊重するきっかけになったと思う人の割合	23	89.9%	毎年度	90%以上	94.34%	割合が9割を超えても、引き続き多くの県民が参加し、人権尊重への意識を啓発できるようイベントの周知を図る必要がある。	県民生活部

生涯学習推進計画における個別目標の進行状況について（全項目記載）

資料 2

「生涯学習推進計画」の77～79ページにかけて記載しているすべての項目について、その状況を記載

体系別／項目名		現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局
		年度	数値	年度	数値			
(5)	ファミリー・フレンドリー企業登録数	23	912社	27	1,721社	1,071社	制度周知に努め、登録企業数の増加につなげるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進が進んでいないと思われる中小企業において、取組を促進するための普及啓発を積極的に行う。	産業労働部
(6)	要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成数	23	要約筆記者 22人、通訳・介助員 15人	毎年度	各20人	要約筆記者9人、通訳・介助員12人	盲ろう者向け通訳・介助員は、認知度が低く、ここ数年は受講者数が伸び悩んでいるため、引き続き普及啓発の促進を図る必要がある。	健康福祉部
(7)	国際理解ワークショップの開催数	24	4回	26	8回	8回	教育現場と連携しながら外国人も含めた若者や子どもたちなど、次代の担い手の育成に努める必要がある。	地域振興部
(8)	技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの来場者数	新規	—	26	180,000人以上	—	—	産業労働部
職業的自立を高める生涯学習								
(1)	全日制県立高等学校におけるインターンシップ等の体験人数	23	9,483人	27	16,000人以上	10,899人	普通科のキャリア教育への取組が十分であるとは言えない状況であるため、キャリア教育推進事業を通して、体験的な活動を推進する必要がある。	教育委員会
(2)	愛知県職業訓練会館の利用率	23	53.9%	毎年度	60%以上を維持	62.9%	事業所・団体などが職業訓練を行う際には、当会館を利用するよう積極的に呼びかけていく必要がある。	産業労働部
(3)	大学院、大学、短期大学、高等専門学校における公開講座の開催数	23	2,619講座	29	2,750講座以上	2,981講座	目標を上回る講座数となっているが、この状態を維持できるように大学等へ働きかけを続けていく必要がある。	教育委員会
生涯学習推進体制づくり								
(1)	生涯学習推進本部会議の開催回数	23	1回開催	毎年度	1回以上開催	2回	単に開催したという実績だけでなく、会議を通して生涯学習にかかる全庁的な意思統一、認識の共有を図ることが重要である。	教育委員会
(2)	生涯学習情報システム「学びネットあいち」アクセス件数	23	5,799,436件	毎年度	前年度を10%上回る	7,973,132人 (7,502,604人)	11月にシステムを改修し、県民にとって利便性の高いシステムとする予定であるが、常に魅力的な学習コンテンツを提供し、継続的に県民の関心を保ち続ける必要がある。	教育委員会
	生涯学習情報システム「学びネットあいち」ネットワーク機関数	23	1,410機関	29	1,800機関以上	1,668機関	県民への生涯学習情報の提供は県の重要な役割の一つであり、目標の達成まで残り132機関であるが、目標達成後も引き続きネットワーク機関の増加に努める。	教育委員会
(3)	生涯学習支援ボランティアの登録数	23	211人	29	400人以上	294人	ボランティアを養成するための講座を継続して実施していくとともに、情報提供などボランティアが活動しやすい環境づくりに努める必要がある。	教育委員会
(4)	地域指導者の養成数	24	155人	毎年度	250人以上	250人	人材の養成は県の重要な役割の一つであり、社会の状況に応じて、必要な人材を養成するための研修を継続的に実施していく必要がある。	教育委員会

生涯学習推進計画における個別目標の進行状況について（全項目記載）

資料2

「生涯学習推進計画」の77～79ページにかけて記載しているすべての項目について、その状況を記載

体系別／項目名		現況		目標		25年度の状況 (前年度)	目標の達成に向けての課題	所管部局
		年度	数値	年度	数値			
(4)	市町村立図書館の行う研修会への県図書館職員の派遣者数	23	35人	毎年度	50人以上	42人	講師派遣依頼に対応するために職員のいっそうのスキルアップを図ること、市町村立図書館のニーズを的確にとらえることが課題である。	県民生活部
	愛知芸術文化センター来館者・施設利用者率（来館者・施設利用者/県人口）	23	32.9%	毎年度	30%以上	37.98%	美術館について、県民ニーズに合わせた魅力ある展示会の実施に努めるとともに、芸術劇場について、専任の技術職員により専門的立場から劇場利用者の満足度を高めていく必要がある。	県民生活部
	愛知県陶磁美術館来館者数	23	103,386人	毎年度	100,000人を維持	109,003人	ボランティアの活用方法やイベント内容の見直しを通じサービスの向上を図るとともに、教育普及プログラムの充実に努め、魅力ある美術館づくりに努める。	県民生活部
	青年の家年間宿泊利用率	23	42.8%	27	50%以上	48.1%	今後1%ずつ利用率を伸ばす計画であるが、宿泊利用者数が少ない閑散期（10月～2月）の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会
	美浜少年自然の家年間宿泊利用人数	23	48,140人	27	51,000人以上	48,882人	平成20年度には52,000人余りが利用しており、継続的に宿泊利用者数が少ない閑散期（10月～2月）の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会
	旭高原少年自然の家年間宿泊利用人数	23	53,896人	27	54,200人以上	52,640人	平成24年度には54,000人余りが利用しており、継続的に宿泊利用者数が少ない閑散期（10月～2月）の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会
	清洲貝殻山貝塚資料館利用人数	23	2,159人	毎年度	2,400人以上	10,582人	朝日遺跡の魅力を発信する資料館として、継続的に魅力ある事業を展開し、普及活動に努めていく必要がある。	教育委員会